

# Y校会だより

発行所  
Y校会

〒231-0012  
横浜市中区相生町6-111  
一般社団法人 進交会内  
(電話) 045-681-6575  
(FAX) 045-681-6585

## 『令和6年度(2024年)Y校会幹事会・総会』を開催

令和7年2月15日(土)進交会館3階にて『令和6年度Y校会総会』を役員7名、常任幹事11名、幹事40名、計58名が出席し開催しました。

下記議案について承認されました。

### 【議案】

- 第1号議案 2024年度収支報告書(案)  
承認の件 (別紙参照ください)
- 第2号議案 2024年度事業報告(案)  
承認の件 (別紙参照ください)
- 第3号議案 2025年度事業計画(案)  
承認の件 (別紙参照ください)

※ 終了後に懇親会を開催しました。



### 【叙勲の報告】 おめでとうございます。

- 令和6年11月  
古屋文雄氏(昭38卒)進交会理事長  
教育功勞により「瑞宝小綬章」を受章
- 令和7年3月  
松井薫子氏(昭30卒)  
教育功勞により「瑞宝小綬章」を受章

## 社会見学会 『森鷗外 ～ 寅さんまで』

令和7年5月9日(金)21名が参加、貸切バスで横浜駅を出発し森鷗外記念館～皇居門巡り～寅さん記念館～戸定邸を見学しました。

Y校校歌の作詞者森鷗外の旧宅「観潮楼」跡地で、美澤進校長が校歌の作詞を依頼し、鷗外がこの場所で作詞作業を行ったことを想像すると非常に感慨深いものがありました。皇居の二重橋を見ながら「楠公レストハウス」で昼食をとり、映画「男はつらいよ」で有名な寅さん記念館へ。帝釈天参道を散策し昭和のレトロを満喫しました。



森鷗外記念館前にて



柴又帝釈天にて

## 軟式野球部 全国大会・国体出場の 祝勝会を開催

令和6年12月15日(日)14時～Y校食堂にて部員、OB、保護者等約100名が参加し開催されました。30年ぶりの全国大会での勝利、34年ぶりの国体出場、そして37年ぶりの国体決勝進出等素晴らしい活躍が報告され喝采を浴びました。令和7年の更なる活躍を誓って閉会しました。



## 第9回少年野球教室を開催

令和7年1月11日Y校グラウンドにて、主に南区所属少年野球12チーム指導者等含め約200名が参加し、Y校硬式野球部OB会による第9回少年野球教室を開催しました。

今期からプロ野球独立リーグ・神奈川フューチャードリームス監督に就任した武藤孝司監督(平4卒)、日本ハムファイターズ球団所属の恵健透さん(平30卒)、そして、OB指導者38名が参加し熱心にピッチング・打撃・守備など野球の基本を中心に指導し、子供たちも真剣にまた笑顔で学んでいました。



## Y校会の集いを開催

令和6年12月7日(土)93名が参加しローズホテル横浜にて開催しました。昭和23年卒で最高齢の伊澤信行氏の力強い乾杯のご発声により最高潮の雰囲気で開催しました。令和6年11月に古屋文雄進交会理事長の教育功労による瑞宝小綬章受章を盛大にお祝いしました。

毎年恒例の福引も相原敏貴氏(昭41卒)のアイスクリーム券・クッキーの寄付、そして、星野匡氏(昭53卒)及び五十嵐誠二氏(昭62卒)から横浜ベイスターズ優勝記念グッズの景品を協力いただき大いに盛り上がりました。



古屋文雄理事長に花束贈呈



大盛会でした

## 第11回 麻雀大会

日 付 : 令和6年11月22日(金)  
12:00 ~ 16:30  
会 場 : 雀荘「いずみ」  
参加者 : 20名  
優勝者 : 荒木幸雄 さん (昭40)

## 『Y校東海道会』を今年も開催

昭和18年に第1回が開催され、途中コロナによる中止もありましたが、今回で第35回を迎えました。湘南クリスタルホテルで12名が参加し開催しました。恒例の3分間スピーチ、母校Y校の現況報告等で盛り上がりました。

会員も高齢となり、60歳代～70歳代の会員の入会、大歓迎です。



## 『昭和38年卒同期会』解散について

昭和38年卒(第76期)同期会は2012年のY校創立130周年祝賀会開催の1時間前に結成され、第1回を横浜ローズホテル、第2回を横浜ロイヤルパークホテルにて開催しました。そして今回、傘寿を迎えての第3回同期会を開催する予定でしたが、幹事メンバーの体調不安が発生し企画、準備を進めることが難しいため、誠に勝手ながら、やむなく今回の開催を見送ることとしました。

併せて、昭和38年卒同期会も解散とさせていただきますたくご報告します。また、これまでの活動も皆様の温かいご支援・ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

なお、会の運営に伴う余剰金57,909円はY校会に寄付することといたしました。何卒、ご理解、ご了承くださいますようお願いいたします。

(幹事) 古屋文雄 細貝鋼二 宮下和光

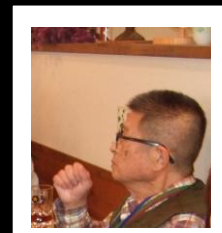
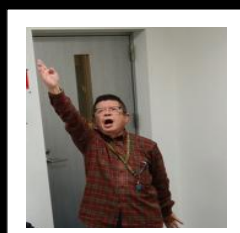
## 『昭和35年卒 河本級クラス会』解散

河本級3年3組のクラス会を2025年3月25日桜木町駅前のワシントンホテルの東天紅で17名が参加し開催しました。黙祷、近況報告、積もる思い出話などでアットという間の3時間でした。

そして、これまで、クラス会を運営した幹事の方々、私達を育ててくれた河本先生(故人)に全員が感謝の意を表しました。最後にクラスの皆さんと集うことができた喜びで締めくくりました。

## Y校会惜別会員

長年にわたりY校会活動にご尽力、ご協力いただきました宇治真人氏(昭37卒)が令和7年1月27日に逝去されました。ご生前のお姿を偲び心からご冥福をお祈りいたします。



謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略)

中崎	田鶴子(昭30)	令和7年 4月	ご逝去
田口	清(昭30)	令和6年 5月	ご逝去
落合	キヌ江(昭30)	令和7年 4月	ご逝去
普川	肇(昭32)	令和7年 3月	ご逝去
渡辺	淳二郎(昭32)	令和7年 3月	ご逝去
宮野	政子(昭33)	令和6年 8月	ご逝去
宮代	任浩(昭34)	令和6年12月	ご逝去
大胡	隆司(昭40)	令和6年11月	ご逝去
井上	昭(昭43)	令和6年11月	ご逝去
松本	恭三(昭44)	令和6年10月	ご逝去
田中	博幸(昭44)	令和7年 6月	ご逝去
奥秋	政司(昭45)	令和6年 9月	ご逝去

## Y校会会費 高額納入者

(令和6年10月～令和7年4月)

ありがとうございました。( )内卒年、敬称略

- ◎ 100,000円 横山 明弘 (昭28)
- ◎ 50,000円 中山 誠一 (昭38)
- ◎ 31,000円 織茂 広 (昭47)
- ◎ 30,000円 中山 正仁 (昭46)
- ◎ 20,000円 中野 聡恭 (昭38)
- ◎ 15,000円 大宮 勲 (昭48)
- ◎ 12,000円 北島 崇弘 (昭28)
- ◎ 11,000円 長沢 晃 (昭40)
- ◎ 10,000円

尾野田 英俊 (昭27) 岡田 寛明 (昭29)  
金子 芳一 (昭27) 鳥海 邦博 (昭29)  
石井 正夫 (昭29) 中崎 田鶴子 (昭30)  
青木 淳 (昭30) 仲手川 徳幸 (昭31)  
増田 忠士 (昭33) 西野 美紗子 (昭33)  
手塚 幸子 (昭33) 荒井 良國 (昭S33)  
矢部 和郎 (昭34) 小池 隆一郎 (昭34)

森 洋子 (昭35) 北村 剛 (昭37)  
新田 弘子 (昭39) 樋口 庄作 (昭40)  
鷺沢 和彦 (昭40) 大胡 隆司 (昭40)  
友野 義之 (昭40) 長沢 晃 (昭40)  
重田 幹夫 (昭40) 舛水 洋 (昭41)  
相原 敏貴 (昭41) 原 和義 (昭46)  
須田 彰 (昭46) 小林 明 (昭46)  
石井 喜代志 (昭46) 中島 豊 (昭46)  
武田 満明 (昭47) 河原 松雄 (昭49)  
吉田 健一 (昭56) 大屋 智久 (昭58)  
三田 英俊 (昭61) 後藤 永 (昭62)

### 【Y校会への寄付の報告とお礼】

ありがとうございました。

昭和38年(第76期)同期会 様 57,909円  
昭和38年河本級クラス会 様 10,285円  
新聞部 OB 会 様 10,254円  
宿禰会(横浜銀行 OB 会) 様 7,357円

### ☆ Y校特筆情報

令和7年1月、Y校1年生の JT さん(匿名希望)が「高校生読者体験記コンクール」で60,493点の応募の中から最優秀作の文部科学大臣賞を獲得しました。

【受賞作】「教えが自信へ、信念へ」

【本人談】「この経験を自信とし、自分の人生に恥も悔いも残らぬよう、これからも精進してまいります」

— 詳しくは令和7年10月発行の進交会報91号に掲載予定です

## Y校校歌 2番の歌詞 正しいのはどちらか？

栄行く御代の～で始まるY校校歌の2番出だしの歌詞は「競ひの場のますらを我等」ですが、「競ひ」のフリガナが「きほひ」と「きそひ」の2種類があることが判明しました。

森鷗外記念館とY校図書室で確認したところ、森鷗外全集では「きそひ」となっていました。

昭和12年Y校同窓会発行の「美澤先生」、50周年、70周年、90周年、100周年記念誌は

「きほひ」のフリガナとなっています。また、Y校で作られた応援歌集は「きそひ」と「きほひ」

の2種類があります。森鷗外から受け取った歌詞にはフリガナがあったかは不明ですが、

「競ひ」は「きほひ」「きそひ」の二通りの読み方があったことから読み手の側によって変わって

きたと考えられます。引続き、検討していきたいと思えます。

— 事務局 —